

AT搭載コンバージョンEV誕生

自動変速・クリープ現象 ガソリン車感覚で運転



試乗会では「良く走る」「乗りやすい」との声が上がった

同クラブは、EVの構造習得を目的に昨年9月に発足。當研究会の有志を中心構成

スズキ「エブリイ」ベース

国内では例が少ないオートマチックトランスミッション(AT)を搭載したコンバージョン電気自動車(EV)が誕生した。東京都自動車整備振興会板橋支部の会員で組織する板橋EVクラブが進めていたコンバージョンEV製作業が完了し、完成報告会と試乗会を実施した。

ATによる自動変速とクリープ現象により、ガソリンエンジン車と変わらない運転と加速感を持たせているのが最大の特徴。ATの搭載作業が完了し、完成報告会と試乗会を実施した。

これまで、コンバージョンEVの新たな可能性を示した。



デカールでコンバージョンEVのAT車をアピール



中央にバッテリーモニターを配置。ていねいな仕上がりはメカニックのこだわりが反映された

新年度事業計画を承認

JARA理事に服部、今原両氏

NPO法人全日本自動車リサイクル事業連合(JARA)理事長は23日、都内の事務所会議室で第8回

表取締役を理事に迎えることを決めた。

また、エブリイはエンジンコンピューター(ECU)がエンジンとAT、エアコンをコントロールしているため、ECUを活用。自動変速に必要な信号は、スロットルセンサー、モーターの回転数、車速センサーから情報を引き出した。節電のため、時速20km以上でスロットルオフにした状態ではモーターの回転を止めて、リチウムイオンバッテリーの消費を抑

され、東整振板橋支部がバッテリートラップしている。代表世話人は、ATのリビルトを手がける日本ウエア・ハウスの大庭太社長が務めている。

これまで、コンバージョンEVの製作は、マニュアルトランスマッキン(MT)車をベース車両に選ぶケースがほとんど。一部にAT車のコンバージョンEV製作例はあるが、自動変速機能を持つ車両は、同クラブが初めて

いう。

コンバージョンEVの製作ではベース車両にスズキ「エブリイ」を選んだ。AT搭載のコンバージョンEVの製作に向けて、日本ウエア・ハウスが所有するATテスターでコンバーターを作動させるために、ガソリン車のアドバイスが重ねてきた。トルクデータを重ねてきた。トルク

コンバーターを作動させ

るために、ガソリン車のアド

バイスが重ねてきた。トルク

コンバーターを作動させ

るために、ガソリン車のアド

バイスが重ねてきた。トルク

コンバーターを作動させ

るために、ガソリン車のアド

バイスが重ねてきた。トルク

コンバーターを作動させ

るために、ガソリン車のアド

バイスが重ねてきた。トルク

コンバーターを作動させ

のために、ガソリン車のアド

バイスが重ねてきた。トルク

コンバーターを作動させ

のために、ガソリン車の